11 月定例月議会における議案に対する意見募集

No.1　システム保守運用経費（庁内情報基盤整備）

巧妙化する未知のサイバー攻撃に対し、従来の「侵入を防ぐ」対策に加え、「侵入されることを前提とした」リアルタイム監視体制を新たに構築します。新たな情報セキュリティ対策システム（ＥＤＲ等）の導入により、インシデント発生時の被害拡大を最小限に抑え、本市が保有する市民の個人情報等の流出を防止しようとするものです。

今回の事業に対するご意見を募集します。

１　内容

本市の行政事務用パソコン（マイナンバー利用事務系を除く、ＬＧＷＡＮ接続系およびインターネット接続系の約 3600 台）に対し、以下の３つの機能を導入・構築する。

（１）未知の脅威検知機能（ＥＤＲの導入）

従来のウイルス対策ソフトでは検知できない未知の脅威に対応するため、端末の動作や操作の怪しい振る舞いをリアルタイムに監視し、異常を即座に検知するシステム（ＥＤＲ）を導入する。

（２）インシデント即応・復旧機能（常時監視サービスの導入）

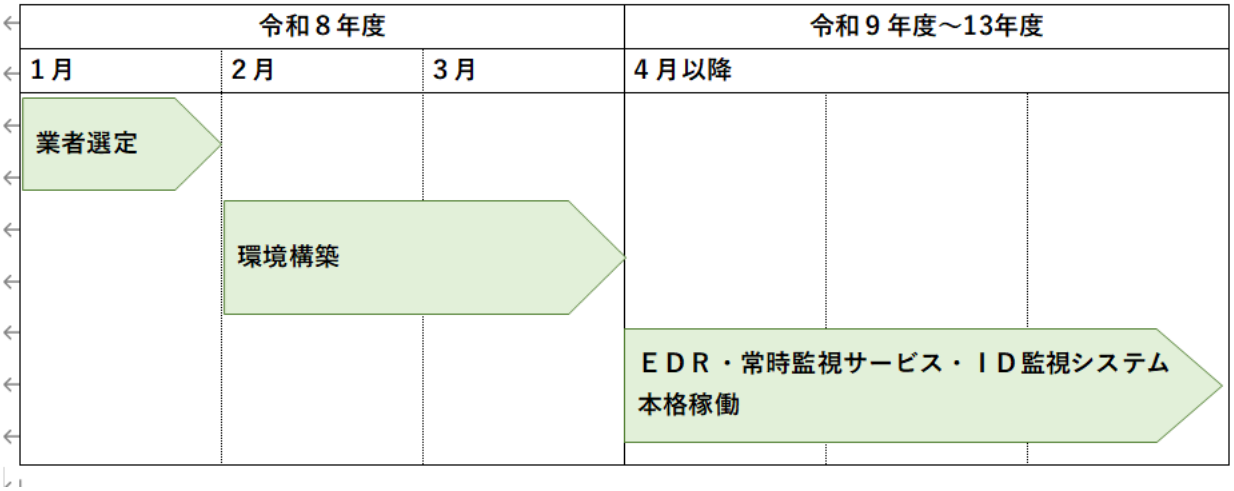
セキュリティ業者への委託により、ＥＤＲからの警報を常時監視し、インシデント発生時には脅威の重要度に基づく「端末のネットワーク隔離」「原因調査」「復旧支援」までをワンストップかつ迅速に実施する体制を構築する。

（３）不正アクセス防御機能（ＩＤ監視システムの導入）

ＥＤＲをすり抜ける「正規アカウントを悪用した攻撃」を防ぐため、ユーザーの認証情報等を監視し、本来の利用者と攻撃者の振る舞いの違いを分析して不正アクセスを検知する「ＩＤ監視システム」を導入する。



〔スケジュール〕



〔導入費用（60 か月分：令和９年４月～令和 14 年３月）〕

○初期導入費（環境構築費）		9900 千円…①
○ライセンス料（システム運用保守費含む）		342500 千円…②
ＥＤＲ	64570 円×3600 台	232452 千円
常時監視サービス		15305 千円
ＩＤ監視	28710 円×3300 台（サーバ 300 台除く）	94743 千円

合計　①　＋　②　＝　352400 千円

２　補正予算額

9900 千円　（財源内訳）　一般財源　9900 千円

３　債務負担行為（追加）

・情報セキュリティ対策システム運用経費
　限度額　342500 千円
　期　間　令和８年度から令和 13 年度まで